



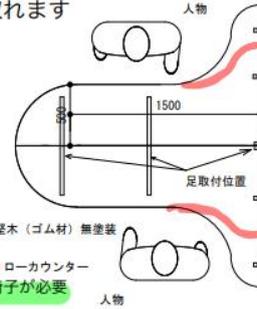
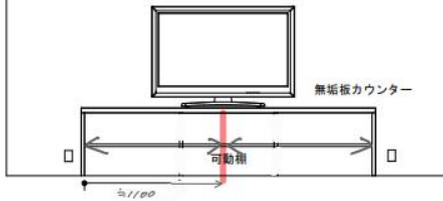
異なる木材との調和  
自然素材に囲まれた暮らし



天然の絞り丸太

杉板無地

杉板赤身/テーブルの足も同材で取れます



サクラカウンター

恐らく水目桜かと思えます

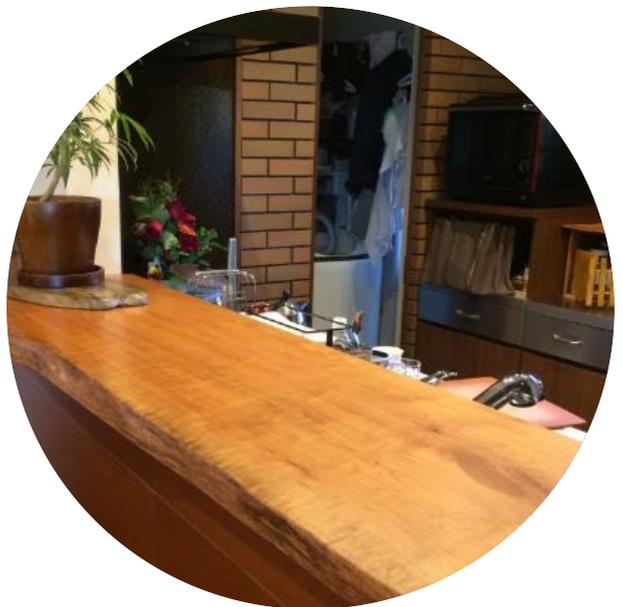
仕上げると杳(モク)が綺麗に出るかとおもいます

\*長さが2300の為カット調整すると2250程度になってしまいます。w=580程

工事名称	家具・カウンター	件名	横山様邸	作成者	アサヒホーム株式会社	図名	平面計画図	縮尺図	1/20	No-1	2023.4.3
------	----------	----	------	-----	------------	----	-------	-----	------	------	----------

# 打合せの軌跡 サイズと材種の選定

削る前の材は、木目や肌色が分かりづらく、不安な要素が大きいものです。同じ種類の木を参考にさせて頂いたおきながら仕上がりイメージを少しづつ形作ります





今回、材木屋さんから大切に保管されていた【水目桜】を選定して頂きました。加工前は、両側に耳（木の皮）がついていましたが、片側を直線に落とす事で、テレビカウンターとして使用致します。下の写真は、木のねじれを平らに削っている途中の工程です。

木は伐り出してから長い年月をかけて、内部の水分が抜けます。時間をかけて乾燥を進ませ、木の歪みや、割れをあえて出しているのです。

製材直後の板は真っ直ぐカットされますが、その状態から数年にわたって、保管されます。左側は、ちょうど数年分のホコリをかぶっており、右側は少しづつ平らな面を削っているところです。数年かけて木が歪んだ形がよくわかる1枚かと思えます。

自然の艶と力強さ  
木と共に生きる



平らに加工した後の表面は機械の細かい跡が残ります。手鉋で、更に平らに整え、本来の艶を最大限高めます。

今回使用した水目桜は【北海道産】。脚で使用した木材は【京都産】で有名な北山杉というブランド。木目の絞りは天然物です。



表面を整えた所で、片側の  
カット位置の最終確認。丸太  
を割った足も仮組致します。  
カウンター裏面には、2本の  
溝を掘り木の繊維と直交させ  
る板を組み込むことで、カウ  
ンター表面の将来的な反りを  
出来る限り抑制致します。



ご自宅にて、組み上げ。正面から見た際に足を5度程、傾けました。角度は原寸図から調整したのですが、実際組みあがって、違和感の少ない傾きに安堵致しました。お寺の鐘撞堂(かねつきどう)を少し真似て採用させていただきました。

